

福祉灯油・あったか応援資金等の実施を求める陳情書

札幌市議会 議長 高橋 克朋 様

2014年 月 日

陳情団体名・住所・代表者名

印

《陳情事項》

障害者・母子・高齢者・生活保護世帯等の低所得者に対する、福祉灯油・あったか応援資金等の助成を実施して下さい

《陳情理由》

(1) 灯油価格が高値で推移しています。2013年10月には、10104円を超えていましたが、2014年10月には、110.7円（札幌市消費者センター調べの個缶配達価格）と6.5%もの値上げになっています。

札幌市内の平均灯油消費量は、冬期間（10月～4月）に、1.390%使用となっているので、14万円かかることとなります。しかも大幅な電気料金引き上げもあり、家計に大打撃が予想されます。年金生活者は、食事の回数を減らしたり、ストーブ使用を控えて早く寝るなど健康にも影響が心配される事態が生じています。

(2) 全道の『福祉灯油』実施自治体は、2013年度は、約9割に当たる159自治体（約5億円の給付）にのぼり、住民に大変喜ばれており、実施自治体への住民の信頼も厚くなったと言われています。これだけ多くの自治体を実施しているのは、道民にとって暖房が、健康と命に直結するからです。札幌市も道内の多くの自治体と同じように実施すべきです。

(3) 札幌市は、『石油価格高騰の対策は国の責任』『13万4千世帯の対象者に、1世帯5千円支給すると約6億8千万円の経費がかかる上、効果が限定的』と福祉灯油実施には消極的です。

低所得者にとっては、5,000円といえども大金であり、必要なものです。市民の暮らしは、年金・児童扶養手当の引き下げなどで所得が下がり、一方で消費税増税、物価値上げ等で生活の悪化は格段に進行しています。

市民生活が窮迫し、「何を節約していいかわからない」と悲鳴が上がっているのですから、行政としても真剣に検討して応える責務があります。暖房費助成を緊急に実施することを陳情いたします。